

放送大学通信

on air

オン・エア

no. 72

発行日 平成15年12月10日

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地 043-276-5111(代)

CONTENTS

座談会 中国を学ぶ意義とその魅力	1
教授 山田 辰雄	
教授 浜口 允子	
教授 傳田 章	
助教授 宮本 徹	
教授 阿部 齊(司会)	
卒業生の看護学と教育学の研究会	4
就任のあいさつ	5
助教授 奈良 由美子 / 助教授 浅川 達人	
平成16年度大学院単位認定試験時間割	6
専修免許状取得を希望している現職教員の方等へ	6
平成16年度学部単位認定試験時間割	7
平成16年度開設改訂科目一覧	11
学習センターの整備	14
愛媛学習センターの移転 文化の地、愛媛の生涯学習拠点	
平成16年度開設改訂科目紹介	15
教務のお知らせ	16

中国を学ぶ意義とその魅力

< 座談会 > 社会と経済 教授 山田 辰雄 人間の探究 教授 浜口 允子
 人間の探究 教授 傳田 章 人間の探究 助教授 宮本 徹
 大学通信編集委員会委員長 教授 阿部 齊(司会)



なぜ中国を研究するようになったか

阿部 今日はお暑いところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

放送大学にもいろんな地域を研究されている先生方が何人もいらっしゃいますが、ただ同じ地域を研究していらっしゃる先生が複数いらっしゃるという領

域はそんなにはないんですね。その中で、専門はそれぞれ違いますが4人の先生がそれぞれ中国とかかわりをもっていらっしゃいます。そこでその4人の先生にお集まりいただきまして、中国研究の魅力とか日中の関係の問題とか、あるいは放送大学での中国研究、あるいは学習の役割といったようなテーマでお話をいただきたいと思います。

まず紹介をかねてお一人ずつ、

なぜ中国を研究なさっているのかお話しただきたいのですが。まず傳田先生、いかがでしょうか。

傳田 私の場合は田舎から東京へ出てきて、たまたま大学で外国語に「中国語」があったということでものめずらしさに教室をのぞいたのがこの分野にはまりこむきっかけになりました。そこで出会った先生の授業に惹かれたのが大きい。それは長袍

<座談会> 中国を学ぶ意義とその魅力

にイメージされるいわゆる文人の吟詩でもなく、もちろん論語孟子の世界でもない、私の想像していた旧制高校の（私は新制4年目）語学の授業 従兄の本棚にあったレクラム文庫ののと同じものがそこにあったのです。新鮮な驚きでした。だから、まず中国の文化に惹かれてそれで中国語を勉強しようと考えたという仲間の多くの入り方とは違ったものであったようです。

戦後すぐの学生で中国を対象とする分野に進んだものは、その多くは革命を起こした新しい中国に何かがあると惹かれたのではないのでしょうか。その関心を象徴するものは魯迅です。もちろん日本の近代的な学問は明治以来西欧に向けて来たのですから、われわれは極々少数派でした。それがだんだんと増えてきた過程を振り返ると、そこには何度かの波がありました。「文化大革命」の開始（66年） 国交回復（72年）などがやはり大きく影響しました。当時中国語を選択する学生が年々それこそ倍々ゲームで増えたものです。



山田 健二 先生（元）教授

いま私どもの分野で文学でも語学でも中堅として第一線に立っている人たちはこの時期に入ってきた人たちですね。さらに80年代以降は中国経済の発展に伴いより多くの学生が貿易などもっと現実的な関心で中国を考えるようになっていのでしょうか。

阿部 ありがとうございます。

それでは中国史を研究しておられる浜口先生、中国研究の魅力というのは何でしょうか。

浜口 私の場合は、というより私の場合も、時代の影響を受けて出

発点は研究の魅力というより、中国という対象そのものにひかれたというべきだと思います。私は、1950年代後半に大学生でしたから、只今の傳田先生の分類に従えば中国革命に強い関心をもった世代です。特にその契機となったものが、当時相次いで出版された一連の中国革命を描いたルポルタージュで、例えばエドガー・スノーやアグネス・スメドレー、ジャック・ベルデンといったジャーナリストたちの作品を読んだことです。それらを読むなかで、若さゆえかもしれませんが、人間が一つの国や社会にこのように大きな変化をもたらすことができ得るのだということを知って感銘を受けました。当時は日本社会も進むべき方向を模索していましたから、そこからきた問題意識もてつだって、まず中国を対象に選び、それからその歴史を研究することにしました。

ただ、その後今日まで中国史の研究を続けてきた要因はといえば、同時代史に入ってから中国が常に予想をこえた大きな動きをするものですから、中国とは何かを歴史研究をとおして理解したい、納得したいと切実に思ったからだだと思います。それは難しいけれども魅力的なテーマです。そして、時々ですがハタと腑におちることがありますので、それがエネルギーの素になっているように思います。

阿部 それでは今度は中国の政治史を研究なさっている山田先生、いかがでしょうか。

山田 私もお二方と大体同じ世代で、1950年代から60年代に学生時代を過ごしました。

あの頃は中国社会主義華やかな時代でしたし、日本においても社会主義に希望がありました。しかもあの頃我々は中国に行けなかったんですね。行けないとなるとますますあこがれの気持ちが強くなるんです。

また、私は慶應義塾の法学部政治学科で政治学とか社会学の勉強をしていましたが、欧米の学問が

中心でこれはおかしなという気持ちがありました。

そういう意味で中国に興味を持つようになりました。

より直接的には、私の指導教授である石川忠雄先生の『中国共産党史研究』に出会ったことが本格的に現代中国の政治を研究するきっかけになりました。



山田 健二 先生（元）教授

阿部 今お話しいただいたお三方の先生は、多少年齢の差はありますがまあ近い世代でいらっしゃると思いますが、宮本先生はずっとお若い世代ですね。今のお話を伺って、何かやはり宮本さんが中国を勉強しようとした動機とどこか違うというふうにお感じになりますか。

宮本 私は90年代に学生生活を送っていたのですけれども、そのころは日本の社会も、それから中国も比較的安定していた時代に入っていました。私よりも少し上の世代の先生方の時代と比べますと、中国に対する激烈な思い入れというものは、既になかった、少なくともそれほど表面には出てこなかったように思います。一面ではそれはそれで非常に悔しいといえますが、生まれてきた時代が少し遅かったということで、残念に思う点なのですが、そういうことで私たちの時代は、中国に対する向き合い方というのは社会全体に対する使命感とでも言うべきものからは離れ、おそらく非常に個人的であり、きわめて個人的な動機に根ざしていることが多いのではないかと考えています。

この状況は現在でも基本的に変わらないと思うのですが、中国へ

のアプローチの仕方というのは、昔に比べて非常に多種多様なものがありまして、直接中国に行くことも非常に容易ですし、中国に接する機会も非常に多い。そういうものの中から勝れて個人的な動機によって中国に向き合うことになったのだと思います。



宮本 徹 先生（元）助教

日中交流をどのように考えるか

阿部 この地域を研究しても、その地域と日本の関係は意識せざるを得ない。私はアメリカを専門にしていますが、やはり日米関係というものにたえずわずらわされるといふか、あるいはそれにつきまといわれるといふか、そういう面はあると思うのです。特に中国の場合は、実は日中関係というのはものすごく長いんですね。考えてみれば、日米関係などはせいぜいここ200年とかの話ですけど、日中関係となると本当にもう悠久の昔から続いているわけです。そういう意味でも何か中国を研究するという場合には日中関係というものを何らかの形で意識せざるを得ないんだろうと思いますけど、その辺はいかがですか。

浜口 そのとおりです。例えば、近代史を研究対象にしていますと、この間の二つの国の不幸な関係がどうしても意識されます。中国へ調査に行ったときなど必ずこの問題に直面しますから。けれどもその事実は直視するにしてもやはり乗り越えなければならぬ。そのためには長い歴史をみる目をもって日中関係の基盤をおさえておくことが必要なのだと思います。

そこで何をおさえておくかですが、それは一言でいえば、近代以前の日本と中国の関係がなかなかよかった、お互いに文化の根底を共有しながら、しかしそれぞれに独自の文化をもつという絶妙な関係をつくっていたという点を忘れないようにするという点ではないかと思えます。そしてそうなった理由としては、一つの例ですが、千年以上遡る遣隋使、遣唐使の時代に、苦勞して日本海をわたっていった人達が、帰途中国から運んできたものが主に書籍であったという点に注目したいと思います。つまり、国がつけられていく時に、その当時の人たちが中国から受容したものが物というより書物という精神文化の基盤をなすものであったということです。それは文化が発展する種がもたらされたということで、それはタネですからその後独自に発展したり変容したりして日本の日本らしい文化形成に役立ったと考えられるのです。この時代の研究をされた中国のある先生が、こうした日中間の交流の道を、中国から西へのびるシルクロードと対比させて「ブックロード」といわれました。「ブックロード」というのは日中関係を示す上で本当によい名前だと思います。この名称は日中間の交流が文



浜口 允子 先生（元）教授

化的な交流であり、それぞれに主体性をもった交流であったことを示しています。そうした歴史が私たちの背景にあったのだと考えますと、近代になってからの日中関係についてもそう屈託ばかりしなくてもよいと感じます。

阿部 傳田先生はいかがですか。傳田 最近はずすがに稀になりま

したが、例えば卒業研究をするなら唐詩でやりたいというような学生が年輩の世代に多かったのです。それは少し乱暴な言い方をすると、過去の日本人が見た、その目で唐詩を見ているわけです。例えば平安朝の貴族は白楽天の詩文から自分たちの好みに合うものだけを読んで、大陸の歴史のもつもっと乾いた現実を映している面は紹介しなかったんですね。

さらに日本人はそれを漢文で読んできたというところにもう一つ大きな問題があります。一つ一つの語を漢文 実は日本語で、日本語の意味と感覚で読んでいるのです。

学界でそれでは本当の中国は理解できないという反省が言われたのは戦後になってからのことでした。ある文化を学ぶときにまずそのことばから学ぶという、対象が西欧であったなら当たり前の手順が、中国に対してまったくこなされてこなかった。詩文の訓読はすでに日本文学、日本の文化の中に溶けこんでしまっている、さほど気にならないのかもしれないけれど、これが白話 近世口語の文学となるともうそうはいかない。西欧の戯曲文学に劣らぬものが中国にもあるという論が清末の学者から出されて、日本でも大正期に近世戯曲文学が紹介されたのですが、日本の学者がやると漢文訓読からはなれない。その結果きわめて奇異な翻訳になったのです。我々が慣れてしまっている論語や李杜の詩の訓読でも、現代の中国の人たちが母語の古典を読むのとはかなり違う感受になっているのではないかと。戦後のこの分野の研究が注いできた主な努力は、この外国語としての中国語で作品を読み直すことだったと言っ

阿部 それでは宮本先生、今ちょうどそれぞれの思い、過去のいろいろな日中関係の積み重ねみたいなものがあって、その中で皆さん中国というものを研究してこられたと。で、さっき宮本先生はもっと自由だと、個人的だとおっしゃ

いきましたが、それはどういうことになりますか、今お話しいただいたようなことに結びつけると。そういうものはもうないと。宮本 先ほど個人的ではあるとは申しましたが、やはり過去との関係において自由とは言い難いと思います。いま傳田先生のお話しになったことに引きつけていきますと、もちろん現代の資料はそうですけれども、古典の資料でも、中国語を原語で読まないとはやはり書かれた作者の意図に迫れないというのはまことにその通りだと思います。実はこのことが一般的な觀念になったのはおそらくそんなに古いことではありません。文学・語学専攻の場合は、戦後、古典も含めてすべて原語で読むのが当たり前になりつつあったと思うのですが、その他の分野においては訓読によって文献を読まれている方が少なくありません。訓読というのはもちろん優れた方法ではありますが、それによっては汲み上げることのできない原語の微妙なニュアンス、これは主に虚詞によって表現されているのですが、それらを捨象してしまう可能性があります。ですから私たちが古典も含めて中国語に向き合うときには、当然ながら外国語として向き合う必要があろうかと思えます。非常に限定的な側面ではありますが、これも過去の日中関係を背負う私たち日本人に固有の問題だと思えます。

阿部 山田先生はいかがですか。山田 いま皆さんは古い時代から長期的な日中関係について述べられましたが、私の関心は20世紀の日中関係にあります。いま政治的にも社会的にも日中の歴史認識

問題が非常に大きな問題になっています。これをどう見るかという問題ですが、私は日中戦争をはじめとして、20世紀の前半に日本が中国を侵略したというこの事実は、どう弁解しようと否定できないと思います。しかし日中関係はそのことだけで理解できるのでしょうか。歴史的な事実に照らして私はその見方は必ずしも正しくないと思っています。早い話が、20世紀の前半は侵略したけれども、20世紀の後半、1949年以降は日本は全然中国を侵略していないですね。

もう少し歴史をさかのぼって見ますと、1911年に中国では辛亥革命が起きました。これは清朝という王朝を倒した非常に重要な歴史的事件です。この革命の最大の根拠地は日本にあったのです。日中間の協力なくしてこの革命は起こらなかったし、この革命が起こらなければ中華民国も中華人民共和国もあり得なかったわけです。これは一つの例ですけれども、日中間にも相互依存関係というか協力関係も存在していたわけです。

それから日本と中国は、いろんな意味でアジアの大国であることです。だから利害関係、あるいは感情の面でぶつかるんですね。これはもう仕方がない。ただし対立しながらなおかつ平和的に共存していかなければいけないというのが実は日中関係のあり方であろうと私は考えています。私はこういう日中関係のあり方を、私自身の造語で「競存」と呼んでいます。こういう観点からみると実は過去にもそういう状態があったし、今もそうなんです。しかし戦争に持ち込んではいけ

ないし、また長期的には対立を解決できるという歴史的観点が必要だと思えます。

私は20世紀の日中関係を、一面では侵略の事実を認めながら、他面では相互依存の事実も認め、その中間に競争しながら共存していく側面もあるのではないかとという多面的な日中関係に対する見方が必要であると考えています。



阿部 齊(あべひろゆき)教授(司会)

阿部 先ほど濱口先生が、日中関係というのは単に物の移動ではなくて精神的なもの、ブックロードとおっしゃったけれども、そういうのは日中関係にしかないんじゃないでしょうか。例えば日米関係というのはせいぜいマクドナルド化ぐらいの話で、とても日本の精神文化を大きく変えたということはないんじゃないかと思うんですね。ヨーロッパの影響もかなり限定的で、物は、技術はずいぶん学んだけれども、精神という面ではいまだに学んでいない部分のほうがはるかに多い。そういう意味で日中関係というのはやはり非常に特別な関係だし、放送大学でもこれからもっともっと多くの人が学んでいくことができればいいなと思いました。

今日は長時間ありがとうございました。

卒業生の看護学と教育学の研究会

発達と教育 教授 宮澤 康人

放送大学の学習は卒業してから本格的に始まることをご存じでしたか。卒業研究のお手伝いを宮澤がした看護系の方々、文京学習センターを会場にして、春と秋の年2回のペースで、5年ほど続けている研究会があります。小児看護、母子看護の臨床ののち、現在は看護学校等で教えながら大学院で学んでいる人が多いのですが、臨床現場で求められる実技能と学校の授業で教える知識・理論とのギャップの克服などが研究課題です。『感情と看護』とか『看護ケアの現象学』といった文献を頼りに方法論を模索しています。九州からの参加者もいます。関心をお持ちの方は、お問い合わせください。

〒951-8063 新潟市古町通り2-543-706 竹村真理 (Tel + Fax 025-227-2374 メール: takemura@clg.niigata-u.ac.jp)

就任のあはつ

共感と教養

生活と福祉 助教授 奈良 由美子



2003年8月、生活環境学担当として放送大学に着任いたしました。千葉学習センターに所属しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

複数の人間が相互作用し有機的に創る社会に生きて、いま国内外で起こっている様々な問題を思うに、また自分自身が日常生活を送る中でも、「共感(性)」

の大切さを痛感する今日この頃です。共感性の定義については諸説ありますが、数多くの定義に共通するものとして、他者のおかれている立場や状況を把握し、その他者の視点から理解しようとする能力、また、他者が経験している体験や感情を、その他者の立場にわが身をおいて共有しようとする能力であるとされています。共感性は、他者(とくに親)による受容、そして体験の共有等によりその育成が促進されることが様々な研究によって分かっています。そして私は、「教養」も共感性

を高めるひとつの手がかりになるのでは、と思っています。教養は複雑な社会の中で自分を位置づけるものであると同時に、相手を位置づけるものでもあります。この世に生起する様々な事象について知り、他者にはそれぞれの社会的文脈があることを理解できることは、相手の立場による思考と行動を可能とするものだと思うのです。社会の構成員のひとりとして私も、いろいろな相手と丁寧に向き合えるよう、これからも教養を高めたいと思っています。

社会を紙に書く仕事

社会と経済 助教授 浅川 達人



専門はなんですかと尋ねられたとき、説明に苦慮することがよくあります。専門は社会学で、社会調査の授業を担当させていただいていますとお答えすると、多くのみなさんは曖昧な笑みを浮かべられます。わかったようで、わからないぞ、という合図ですから、私も言葉を付け加えます。社会を紙に書くのが仕事なのです、と。

私たちは誰もが社会で生活しており、誰もが社会のしくみ

について理解しています。にもかかわらず、社会をこの紙に書いてください、とお願いされたらどうでしょう。社会は目に見えないのだから書くことなどできない、と思われることなのでしょう。ところが、書くことができるのです。

社会地図を用いれば、産業構造の変化という目に見えない現象を描き出すことができます。またそこに住む住民の構成の変化を示す地図など、他の地図と重ねあわせることによって、産業構造の変化が住民構成におよぼす影響を考察することができます。さらには、住民の意識の

変化を数量で捉えることもできますし、人々の日常会話からは言葉の背後に秘められた生活者としての意図(戦略)を読み解くこともできます。そうやって、実体として目に見えない社会を見つめ、地図や表やグラフや言葉を駆使して社会を描き出す作業をするのが社会学者の仕事であり、そんな力を与えてくれるのが社会調査なのだと思っています。

2003年8月に着任したばかりの浅学の新参者です。東京足立学習センターに所属しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成16年度大学院単位認定試験時間割

(第1学期)

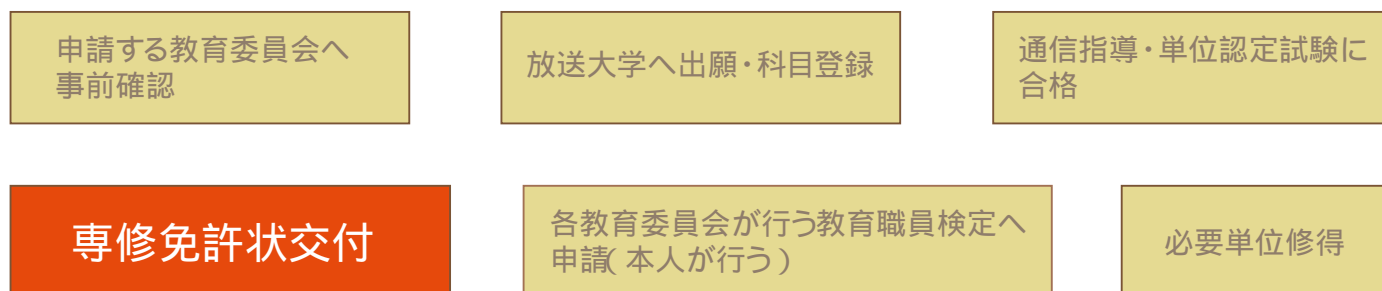
	平成16年8月1日(日)	平成16年8月3日(火)		平成17年1月30日(日)	平成17年2月1日(火)
1 9:15 10:05	総合情報学'02 情報システム科学'02 芸術文化政策'02 生涯学習論'02	地域文化研究'02 健康科学'02 都市計画論'02 学校臨床心理学'02	1 9:15 10:05	国際関係論'02 経済政策'02 教育課程編成論'02 認知行動科学'02	表象文化研究'02 生命環境科学'02 法システム'02 臨床心理学特論'02
2 10:25 11:15	総合人間学'02 複雑システム科学'02 福祉政策'02 情報教育論'02	日本文化研究'02 経営システム'02 教育文化論'02 社会心理学特論'02	2 10:25 11:15	国際社会研究'02 物質環境科学'03 地方自治政策'02 認知過程研究'02	情報化社会研究'02 生命環境科学'02 法システム'02 学校臨床社会学'03 臨床心理面接特論'02
3 11:35 12:25	言語文化研究'02 地球環境科学'02 福祉政策'02 才能教育論'02	比較文化研究'02 経営システム'02 教育経営論'04 家族心理学特論'02 [教育経営論'02]	3 11:35 12:25	国際社会研究'02 地方自治政策'04 環境工学'03 教授・学習過程論'02	地域文化研究'02 生活科学'02 技術社会関係論'04 道徳性形成論'03 心理学研究法特論'02
4 13:15 14:05	言語文化研究'02 物質環境科学'02 法システム'02 逸脱行動論'02	文化人類学研究'02 経済政策'02 学校システム論'02 精神医学'02	4 13:15 14:05	数理システム科学'02 芸術文化政策'02 現代身体教育論'02 コミュニティ・アプローチ特論'03	地域文化研究'02 生活科学'02 環境マネジメント'02 発達心理学'02
5 14:25 15:15	表象文化研究'02 生命環境科学'02 法システム'02 臨床心理学特論'02	国際関係論'02 経済政策'02 教育課程編成論'02 認知行動科学'02	5 14:25 15:15	地域文化研究'02 健康科学'02 都市計画論'02 学校臨床心理学'02	総合情報学'02 情報システム科学'02 芸術文化政策'02 生涯学習論'02
6 15:35 16:25	情報化社会研究'02 生命環境科学'02 法システム'02 学校臨床社会学'03 臨床心理面接特論'02	国際社会研究'02 物質環境科学'03 地方自治政策'02 認知過程研究'02	6 15:35 16:25	日本文化研究'02 経営システム'02 教育文化論'02 社会心理学特論'02	総合人間学'02 複雑システム科学'02 福祉政策'02 情報教育論'02
7 16:45 17:35	地域文化研究'02 生活科学'02 技術社会関係論'04 道徳性形成論'03 心理学研究法特論'02 [技術社会関係論'02]	国際社会研究'02 地方自治政策'04 環境工学'03 教授・学習過程論'02 [地方自治政策'02]	7 16:45 17:35	比較文化研究'02 経営システム'02 教育経営論'04 家族心理学特論'02	言語文化研究'02 地球環境科学'02 福祉政策'02 才能教育論'02
8 17:55 18:45	地域文化研究'02 生活科学'02 環境マネジメント'02 発達心理学'02	数理システム科学'02 芸術文化政策'02 現代身体教育論'02 コミュニティ・アプローチ特論'03	8 17:55 18:45	文化人類学研究'02 経済政策'02 学校システム論'02 精神医学'02	言語文化研究'02 物質環境科学'02 法システム'02 逸脱行動論'02

(注) [] の科目は、平成15年度末で閉講される科目で、再試験者を対象とし第1学期のみ実施します。

専修免許状取得を希望している現職教員の方等へ

平成15年度認定分において、経験年数による修得単位の逡減措置は終了いたします。
ご自身の取得しようとする専修免許状の種類と、現在履修している科目が対応しているかももう一度確認して下さい。
また、修得すべき単位等の条件は各都道府県教育委員会により異なる場合がありますので、ご自身で必ず確認をしていただく必要があります。
対応科目は、本学作成の冊子「教員免許状及び各種資格について」及び「平成16年度第1学期学生募集要項[修士科目生]」に同封の「放送大学院を利用した専修免許状の取得」で確認できるほか、本学のホームページでも確認できます。

<専修免許状取得までの流れ>



学部単位認定試験時間割

	平成16年 7月29日(木)	平成16年 7月30日(金)	平成16年 7月31日(土)
	生物学の歴史'01 現代社会におけるライフコース'03 患者からみた医療'03 経営工学総論'04 流体的地球像'03 [経営工学総論'00] [産業人間工学'00]	人体の構造と機能'01 計算科学'03 地域福祉論'03	実験科学の方法'02 変化する地球環境'04 生活の経済'04 公衆衛生'01 マスメディア論'03 情報工学と社会'01 物質の科学・量子化学'03 [宇宙像の変遷と人間'00] [現代生物科学'00]
	物理の世界'03 世界の食糧問題とフードシステム'03 簿記入門'02 都市システム工学'03 多変数の微積分'03 光と電磁場'01	疾病の成立と回復促進'01 若者の科学離れを考える'04 技術の分析と創造'02 ネットワーク産業論'04 天体物理学入門'03	宇宙とその歴史'04 東アジア・東南アジアの住文化'03 リハビリテーション'03 産業と労使'03 持続的発展と国際協力'03 量子力学'01 [宇宙とその歴史'00]
	確率と統計'01 都市と人間'03 生活の経営'01 企業ファイナンス入門'04 動物の行動と生態'04 宇宙の進化'01 [食生活をめぐる諸問題'00] [社会の中の会計'00] [光と物質'00]	看護学概説'01 高齢者福祉論'03 イノベーション経営'01 数学とコンピュータ'03 物質の科学・反応と物性'04 [物質の科学・反応と物性'99]	宇宙像の変遷と科学'04 脳の健康科学'02 会計学'04 計算力学'04 [地球とその歴史'00] [現代ファイナンス入門'00] [ネットワーク産業論'00]
	家族論'01 日本の食文化'04 マーケティング論'04 [循環器科学'00] [マーケティング論'99]	基礎生物学'03 使える数理リテラシー'03 母子の健康科学'00 現代産業組織論'01 エネルギー工学と社会'03 微生物機能に学ぶ化学'01 [食物とからだ'00]	英語'03 フランス語'02 中国語'01 スペイン語'03 日本語'02 外国語としての
3)	持続可能な消費と生活者'03 科学・技術と社会'03 日本法文化の形成'03 食品の安全性を考える'04 住計画論'02 情報産業論'04 物質の科学・有機高分子'02 [生活者の経済'00] [情報産業論'00] [プログラミング入門'00]	数学の歴史'03 科学の思想と論理'01 中小企業の挑戦'03 感染症と生体防御'04 ベンチャー企業論'01 現象の数理'03 日本列島の地球科学'03	英語'01 ドイツ語'02 中国語'04 ロシア語'01 スペイン語'03
	社会福祉入門'04 物質の科学と先端技術'04 社会保険と市民生活'04 人間と自然'03 データの科学'01 [社会福祉入門'00] [薬の歴史・開発・使用'00] [動物の行動と社会'00]	線型代数学'04 身体福祉論'03 食品の成分と機能'03 公的扶助'02 物性物理学入門'04 宇宙の観測'01 [線型代数'00] [物性物理学入門'00]	ゲノム生物学'03 家族のストレスとサポート'04 光電子技術とIT社会'04 数学基礎論'03 エネルギーと熱'03 多様性の生物学'03 [家族と生活ストレス'00] [電子技術と社会'00]
	日米欧の企業経営'01 がんの健康科学'01 変動する社会と暮らし'02 アグリビジネス'02 幾何入門'04 植物の生理'04 [解析学'00] [植物の生理'00]	初等微積分学'02 現代科学と医療'04 障害者福祉'01 建築意匠論'04 運動と力'01 分子生物学'01 [着ごこちの追究'99] [環境アセスメント'00]	次世代育成を考える'03 技術者倫理'04 集団と環境の生物学'03 国際共生と健康'04 人工物と設計'04 カオス学入門'01 [科学と技術の歴史'99] [年金・医療保険論'00] [設計学'00]
	比較技術の文明論'02 アジアの風土と服飾文化'04 社会福祉の国際比較'02 バイオテクノロジー'01 物質の科学・有機構造解析'03 細胞生物学'03 [高齢者の心と身体'00]	線型代数入門'03 物質の世界 - 化学入門'02 現代社会とスポーツ'01 衣生活の科学'02 経営学'03 管理会計'03 [都市と生活空間の工学'00]	問題解決の発想と表現'04 住まいの構造・構法'04 児童家庭福祉'03 材料工学と社会'01 複素数と関数'04 相対論'04 [情報基礎管理学'00] [相対論'99] [現代モード論'00] [統計の考え方'00]

平成16年度第2学期

学部単位認定試験時間割

	平成17年 1月23日(日)	1月24日(月)	平成17年 1月25日(火)	平成17年 1月26日(水)	平成17年 1月27日(木)	平成17年 1月28日(金)	平成17年 1月29日(土)
1 9:15~10:05	社会福祉入門('04) 物質の科学と先端技術('04) 社会保険と市民生活('04) 人間と自然('03) データの科学('01)		数学の歴史('03) 科学の思想と論理('01) 中小企業の挑戦('03) 感染症と生体防御('04) ベンチャー企業論('01) 現象の数理('03) 日本列島の地球科学('03)	持続可能な消費と生活者('03) 科学・技術と社会('03) 日本法文化の形成('03) 食品の安全性を考える('04) 住計画論('02) 情報産業論('04) 物質の科学・有機高分子('02)	近代日本における外国文学の受容('03) 心理学研究法('03) 教育社会学('03) 現代日本の政治('03) 近代の日本文学('01) 芸術・文化・社会('03) 自然と文化の記号論('02)	心の科学('04) 国文学入門('04) 学習科学('04) 現代経済学('01) 都市社会の人間関係('04) 書誌学('03) アメリカの歴史('04)	国語学概論('02) 国際化と教育('03) ユング心理学('03) 発達障害児の心と行動('02) 金融論('04) 日本経済史('03) ヨーロッパと近代世界('01)
2 10:25~11:15	日米欧の企業経営('01) がんの健康科学('01) 変動する社会と暮らし('02) アグリビジネス('02) 幾何入門('04) 植物の生理('04)		食品の成分と機能('03) 身体福祉論('03) 公的扶助('02) 線型代数学('04) 物性物理学入門('04) 宇宙の観測('01)	ゲノム生物学('03) 家族のストレスとサポート('04) 光電子技術とIT社会('04) 数学基礎論('03) エネルギーと熱('03) 多様性の生物学('03)	歴史学の現在('01) 法の世界('04) 心の健康と病理('04) 国際政治('04) ギリシャ哲学('03) 韓国朝鮮の歴史と社会('04)	アート・マネジメント('02) 人格心理学('04) ヨーロッパ政治史('01) 現象学の基礎('04) 日本語の歴史('01) 考古学と歴史('04)	倫理思想の源流('01) 比較教育制度論('03) 障害児教育指導法('02) 現代の社会心理学('04) 市民生活と行政法('02) 国際経済学('01)
3 11:35~12:25	比較技術の文明論('02) アジアの風土と服飾文化('04) 社会福祉の国際比較('02) バイオテクノロジー('01) 物質の科学・有機構造解析('03) 細胞生物学('03)		初等微分積分学('02) 現代科学と医療('04) 障害者福祉('01) 建築意匠論('04) 運動と力('01) 分子生物学('01)	次世代育成を考える('03) 技術者倫理('04) 集団と環境の生物学('03) 国際共生と健康('04) 人工物と設計('04) カオス学入門('01)	哲学入門('04) 教育の哲学('03) 子どもと若者の文化('01) 教育評価('03) 商法('03) 紛争の社会学('04) 西洋音楽の歴史('01) ドイツ文学('03)	岐路に立つ大学('04) 心理学初歩('02) 国際関係論('02) 西洋政治思想史('01) 近代日本と国際社会('04)	人間科学の可能性('03) 現代アメリカ思想('01) 障害児教育論('02) 現代行政分析('04) ジェンダーの社会学('03) ドイツ観念論への招待('03)
4 13:15~14:05	英語('03) フランス語('02) 中国語('01) スペイン語('03) 日本語('02) 外国語としての基礎看護学('04)	休 日	線型代数入門('03) 物質の世界 - 化学入門('02) 現代社会とスポーツ('01) 衣生活の科学('02) 経営学('03) 管理会計('03)	問題解決の発想と表現('04) 住まいの構造・構法('04) 児童家庭福祉('03) 材料工学と社会('01) 複素数と関数('04) 相対論('04)	経済学入門('04) 生徒指導('03) 児童の臨床心理('03) 日本政治史 20世紀の日本政治('03) コミュニティ論('02) 日本文学における住まい('04) フランス文学('03)	感情と認知('03) 紛争と民法('02) 第三世界の政治('01) 仏教思想('01) 平安朝の文学('01) 博物館資料論('04)	英語('03) 英語('02) 英語('01) ドイツ語('02) フランス語('02) 中国語('01) 韓国語('02)
5 14:25~15:15	英語('03) ドイツ語('02) フランス語('02) ロシア語('01) 韓国語('02) 日本語('03) 外国語としての保健体育('01) 在宅看護論('04)		人体の構造と機能('01) 計算科学('03) 地域福祉論('03)	変化する地球環境('04) 実験科学の方法('02) 生活の経済('04) 公衆衛生('01) 情報工学と社会('01) マスメディア論('03) 物質の科学・量子化学('03)	政治学入門('03) 労働と生活の心理学('01) 経済学入門('01) 現代の哲学('01) 日本の散文 古典編('03) 東南アジアの歴史('02) 芸術の理論と歴史('02)	統計学入門('04) 老年期の心理と病理('02) 環境社会学('03) 古代日本の歴史('01) 博物館経営・情報論('04) イギリス文学('03)	英語('01) ドイツ語('02) 中国語('04) ロシア語('01) スペイン語('03)
6 15:35~16:25	生物学の歴史('01) 現代社会におけるライフコース('03) 患者からみた医療('03) 経営工学総論('04) 流体的地球像('03)		疾病の成立と回復促進('01) 若者の科学離れを考える('04) 技術の分析と創造('02) ネットワーク産業論('04) 天体物理学入門('03)	宇宙とその歴史('04) 東アジア・東南アジアの住文化('03) リハビリテーション('03) 産業と労使('03) 持続的発展と国際協力('03) 量子力学('01)	生涯発達心理学('02) 欧米経済史('04) フィールド社会心理学('04) 朱子学と陽明学('04) 中世日本の歴史('03) 現代における伝統演劇('02)	カウンセリング概論('01) 経済法('04) 現代東アジアの政治('04) ヨーロッパの歴史('01) 応用音楽学と民族音楽学('04)	社会調査の基礎('01) 生涯学習と自己実現('02) 日本政治思想史('01) 自己を見つめる('02) ドイツの言語文化('02)
7 16:45~17:35	物理の世界('03) 世界の食糧問題とフードシステム('03) 簿記入門('02) 都市システム工学('03) 多変数の微積分('03) 光と電磁場('01)		看護学概論('01) 高齢者福祉論('03) イノベーション経営('01) 数学とコンピュータ('03) 物質の科学・反応と物性('04)	宇宙像の変遷と科学('04) 脳健康科学('02) 会計学('04) 計算力学('04)	表象としての日本('04) 知覚心理学('01) 教育の社会文化史('04) 幼児の教育と保育('04) 産業社会と消費社会の現代('03) 近世の日本文学('03) 近世日本の歴史('03)	人文地理学('04) 近代の教育思想('03) 心理臨床の世界('03) ヘーゲルを読む('03) 中世日本の物語と絵画('04)	近代哲学の射程('03) 社会学入門('01) 家庭・学校と地域社会('04) 学習科学とテクノロジー('03) 裁判の法と手続('04) 中国明清時代の文学('01) 東アジアの中の中国史('03) フランスの言語文化('02)
8 17:55~18:45	確率と統計('01) 都市と人間('03) 生活の経営('01) 企業ファイナンス入門('04) 宇宙の進化('01) 動物の行動と生態('04)		基礎生物学('03) 使える数理リテラシー('03) 母子の健康科学('00) 現代産業組織論('01) エネルギー工学と社会('03) 微生物機能に学ぶ化学('01)	家族論('01) 日本の食文化('04) マーケティング論('04)	世界の産業再編成('04) 日本の食文化('03) 刑法('01) 上代の日本文学('04) 古代地中海世界の歴史('04)	教育心理学通論('01) 乳幼児心理学('02) 雇用・福祉・家族と法('03) メディア論('01) 中央アジアの歴史・社会・文化('04) 文化人類学('04)	教育の方法('04) 近代詩歌の歴史('04) 立憲主義と日本国憲法('01) 現代社会と著作権('02) 比較政治学('04) 科学の哲学('04) 博物館概論('03) 中国の言語文化('02)

平成16年度第1学期

平成16年度学部開設改訂科目一覧

	平成16年 7月25日(日)	7月26日(月)	平成16年 7月27日(火)	平成16年 7月28日(水)
1 9:15~10:05	政治学入門'03 労働と生活の心理学'01 経済学入門'01 現代の哲学'01 日本の散文 古典編'03 東南アジアの歴史'02 芸術の理論と歴史'02		統計学入門'04 老年期の心理と病理'02 環境社会学'03 古代日本の歴史'01 博物館経営・情報論'04 イギリス文学'03	社会調査の基礎'01 生涯学習と自己実現'02 日本政治思想史'01 自己を見つめる'02 ドイツの言語文化'02
2 10:25~11:15	生涯発達心理学'02 欧米経済史'04 フィールド社会心理学'04 朱子学と陽明学'04 中世日本の歴史'03 現代における伝統演劇'02 〔日本の法システム'00〕 〔欧米経済史'99〕 〔宗教の哲学'00〕		カウンセリング概説'01 経済法'04 現代東アジアの政治'04 ヨーロッパの歴史'01 応用音楽学と民族音楽学'04 〔近代詩歌の歴史'99〕	近代哲学の射程'03 社会学入門'01 家庭・学校と地域社会'04 学習科学とテクノロジー'03 裁判の法と手続'04 中国明清時代の文学'01 東アジアの中の中国史'03 フランスの言語文化'02 〔家庭・学校と地域社会'00〕 〔現代の行政'00〕
3 11:35~12:25	表象としての日本'04 知覚心理学'01 教育の社会文化史'04 幼児の教育と保育'04 産業社会と消費社会の現代'03 近世の日本文学'03 近世日本の歴史'03 〔舞台芸術の現在'00〕 〔経済法'00〕 〔イメージの歴史'00〕		人文地理学'04 近代教育思想'03 心理臨床の世界'03 ヘーゲルを読む'03 中世日本の物語と絵画'04 〔国文学入門'00〕 〔共生の時代を生きる'00〕	教育の方法'04 近代詩歌の歴史'04 立憲主義と日本国憲法'01 現代社会と著作権'02 比較政治学'04 科学の哲学'04 博物館概論'03 中国の言語文化'02 〔教育の歴史'00〕 〔教育の中の言葉'99〕 〔比較政治学'00〕 〔老荘思想'00〕
4 13:15~14:05	英語'03 英語'02 英語'01 ドイツ語'02 フランス語'02 中国語'01 韓国語'02	休	教育心理学通論'01 乳幼児心理学'02 雇用・福祉・家族と法'03 メディア論'01 文化人類学'04 〔古典古代の歴史'00〕 〔博物館資料論'00〕	世界の産業再編成'04 臨床心理学概説'03 刑法'01 上代の日本文学'04 古代地中海世界の歴史'04 〔現代生活論'00〕 〔上代の日本文学'00〕 〔南アジアの文化を学ぶ'00〕
5 14:25~15:15	英語'03 ドイツ語'02 フランス語'02 ロシア語'01 韓国語'02 日本語'03 外国語としての 保健体育'01 〔中国語'00〕	日	心の科学'04 国文学入門'04 学習科学'04 現代経済学'01 都市社会の人間関係'04 書誌学'03 アメリカの歴史'04 〔認知科学'00〕 〔教育の方法'99〕 〔現代精神分析学'00〕 〔都市社会の人間関係'00〕 〔19世紀日本の歴史'00〕	近代日本における外国文学の受容'0 心理学研究法'03 教育社会学'03 現代日本の政治'03 近代の日本文学'01 芸術・文化・社会'03 自然と文化の記号論'02 〔アメリカの歴史'00〕
6 15:35~16:25	歴史学の現在'01 法の世界'04 国際政治'04 心の健康と病理'04 ギリシャ哲学'03 韓国朝鮮の歴史と社会'04 〔法学入門'00〕 〔発達と学識'00〕 〔国際政治'00〕 〔応用音楽学'00〕 〔ギリシャ・ローマ文学'00〕		アーツ・マネジメント'02 人格心理学'04 ヨーロッパ政治史'01 現象学の基礎'04 日本語の歴史'01 考古学と歴史'04 〔教育の政治経済学'00〕 〔人格心理学'00〕	国語学概論'02 国際化と教育'03 ユング心理学'03 発達障害児の心と行動'02 金融論'04 日本経済史'03 ヨーロッパと近代世界'01 〔財政学'00〕 〔博物館経営・情報論'00〕
7 16:45~17:35	哲学入門'04 教育の哲学'03 子どもと若者の文化'01 教育評価'03 商法'03 紛争の社会学'04 西洋音楽の歴史'01 ドイツ文学'03 〔現代人のための哲学'00〕		心理学初歩'02 岐路に立つ大学'04 国際関係法'02 西洋政治思想史'01 近代日本と国際社会'04 〔現象学入門'00〕 〔中世日本文学の風景'00〕	倫理思想の源流'01 比較教育制度論'03 障害児教育指導法'02 現代の社会心理学'04 市民生活と行政法'02 国際経済学'01 〔学習の心理学'00〕 〔朝鮮の歴史と社会'00〕
8 17:55~18:45	経済学入門'04 生徒指導'03 児童の臨床心理'03 日本政治史 20世紀の日本政治'03 コミュニティ論'02 日本文学における住まい'04 フランス文学'03 〔経済学入門'00〕 〔日本音楽の基礎概念'00〕		感情と認知'03 紛争と民法'02 第三世界の政治'01 仏教思想'01 平安朝の文学'01 博物館資料論'04 〔文化人類学'00〕	人間科学の可能性'03 現代アメリカ思想'01 障害児教育論'02 現代行政分析'04 ジェンダーの社会学'03 ドイツ観念論への招待'03 〔法と裁判'00〕

(注)〔 〕の科目は、平成15年度末で閉講される科目で、再試験者を対象とし第1学期のみ実施します。

区分等	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修	平成15年度限り閉講科目	
共通科目	基幹科目	世界の産業再編成(04)	2	TV	森谷正規	放送大学教授		
	主題科目	表象としての日本(04) 西洋人の見た日本文化	2	TV	山内久明 柏倉康夫 阿部 齊	放送大学教授 放送大学教授 放送大学教授		
		若者の科学離れを考える(04)	2	TV	岩村 秀 中島尚正 波多野誼余夫	放送大学教授 放送大学教授 放送大学教授		
	人文系	教育の方法(04)	2	TV	佐藤 学	東京大学大学院教授	否	教育の方法(99)
		心の科学(04)	2	TV	西川泰夫 波多野誼余夫	放送大学教授 放送大学教授		認知科学(00)
		哲学入門(04)	2	R	柏原啓一	放送大学教授		現代人のための哲学(00)
		国文学入門(04)	2	R	野山嘉正 林 達也	放送大学教授 駒澤大学教授		国文学入門(00)
		近代詩歌の歴史(04)	2	R	野山嘉正	放送大学教授		近代詩歌の歴史(99)
		人文地理学(04)	2	TV	小林 茂 杉浦芳夫	大阪大学大学院教授 東京都立大学大学院教授		共生の時代を生きる(00)
	社会科学系	統計学入門(04)	2	R	盛山和夫	東京大学大学院教授		
		法の世界(04)	2	R	六本佳平	放送大学教授		法学入門(00)
		経済学入門(04)	2	R	林 敏彦	放送大学教授	否	経済学入門(00)
		問題解決の発想と表現(04)	2	TV	東 千秋 柴山盛生 遠山紘司	放送大学助教授 国立情報学研究所助教授 神奈川工科大学教授		情報基礎管理学(00)
		技術者倫理(04)	2	TV	札野 順	金沢工業大学教授		科学と技術の歴史(99)
		社会福祉入門(04)	2	TV	岡本民夫 永岡正己 奈倉道隆	同志社大学教授 梅花女子大学教授 東海学園大学教授	否	社会福祉入門(00)
	自然系	物質の科学と先端技術(04)	2	TV	岩村 秀 東 千秋 飯田 汎	放送大学教授 放送大学助教授 東レ経営研究所特別研究員		現代生物科学(00)
変化する地球環境(04)		2	TV	木村龍治	東京大学名誉教授		地球とその歴史(00)	
宇宙とその歴史(04)		2	TV	杉本大一郎 吉岡一男	放送大学教授 放送大学助教授	否	宇宙とその歴史(00)	
外国語	宇宙像の変遷と科学(04)	2	TV	二間瀬敏史 中村 士	東北大学大学院教授 国立天文台助教授		宇宙像の変遷と人間(00)	
	中国語(04)	2	R	伊藤徳也	東京大学大学院助教授		中国語(00)	

区分	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修	平成15年度限り閉講科目
生活と福祉	アジアの風土と服飾文化(04)	2	TV	道明三保子 田村照子	文化女子大学教授 文化女子大学教授		着ごちの追究(99)
	家族のストレスとサポート(04)	2	R	石原邦雄	東京都立大学教授	否	家族と生活ストレス(00)
	生活の経済(04)	2	R	重川純子	埼玉大学助教授		生活者の経済(00)
	日本の食文化(04)	2	TV	原田信男	国土舘大学教授		食物とからだ(00)
	食品の安全性を考える(04)	2	R	嘉田良平	農林水産省農林水産政策 研究所政策研究調整官		食生活をめぐる諸問題 (00)
	住まいの構造・構法(04)	2	TV	深尾精一	東京都立大学大学院教授		
	感染症と生体防御(04)	2	TV	笹月健彦 岩本愛吉 近藤喜代太郎	国立国際医療センター研究所長 東京大学大学院教授 北海道大学名誉教授		循環器科学(00)
	現代科学と医療(04)	2	R	佐藤健次 大久保善朗	東京医科歯科大学大学院教授 日本医科大学教授		薬の歴史・開発・使用(00)
	国際共生と健康(04)	2	R	新福尚隆 近藤喜代太郎	神戸大学教授 北海道大学名誉教授		高齢者の心と身体(00)
	社会保険と市民生活(04)	2	R	久塚純一 大曾根寛	早稲田大学教授 放送大学教授		年金・医療保険論(00)
	基礎看護学(04)	2	TV	佐藤禮子 三上れつ	千葉大学教授 慶應義塾大学教授		(第2学期開講科目)
	在宅看護論(04)	2	TV	川村佐和子	東京都立保健科学大学教授		(第2学期開講科目)
	発達と教育	教育の社会文化史(04)	2	TV	辻本雅史	京都大学大学院教授	
岐路に立つ大学(04)		2	TV	館 昭 岩永雅也	大学評価・学位授与機構教授 放送大学教授		教育の政治経済学(00)
家庭・学校と地域社会(04)		2	TV	岡崎友典	放送大学助教授	否	家庭・学校と地域社会(00)
学習科学(04)		2	TV	波多野 諒 大浦容子 大島 純	放送大学教授 新潟大学教授 静岡大学助教授		学習の心理学(00)
現代の社会心理学(04)		2	R	亀田達也 村田光二	北海道大学大学院教授 一橋大学大学院教授		発達と学習(00)
人格心理学(04)		2	TV	榎本博明 桑原知子	名城大学教授 京都大学大学院助教授	否	人格心理学(00)
心の健康と病理(04)		2	R	馬場謙一	放送大学教授		現代精神分析学(00)
幼児の教育と保育(04)		2	R	林信二郎 岡崎友典	埼玉大学教授 放送大学助教授		教育の中の言葉(99)
紛争の社会学(04)		2	R	長谷川公一	東北大学大学院教授		
社会と経済	欧米経済史(04)	2	R	藤瀬浩司	愛知淑徳大学教授	否	欧米経済史(99)
	経済法(04)	2	TV	厚谷襄児	北海道大学名誉教授		経済法(00)
	裁判の法と手続(04)	2	TV	酒巻 匡 山本和彦	上智大学教授 一橋大学大学院教授		法と裁判(00)
	フィールド社会心理学(04)	2	R	大橋英寿	放送大学教授		
	現代行政分析(04)	2	R	真淵 勝	京都大学大学院教授		現代の行政(00)
	国際政治(04)	2	TV	高橋和夫	放送大学助教授	否	国際政治(00)
	比較政治学(04)	2	R	眞柄秀子 井戸正伸	早稲田大学教授 駒澤大学教授	否	比較政治学(00)
	金融論(04)	2	TV	岩田規久男	学習院大学教授		
	都市社会の人間関係(04)	2	R	森岡清志	東京都立大学教授	否	都市社会の人間関係(00)
	現代東アジアの政治(04)	2	R	山田辰雄 小島朋之 小此木政夫	放送大学教授 慶應義塾大学教授 慶應義塾大学教授		

区分	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修	平成15年度限り閉講科目	
産業と技術	マーケティング論(04)	2	R	恩蔵直人	早稲田大学教授	否	マーケティング論(99)	
	経営工学総論(04)	2	R	辻 正重	青山学院大学教授	否	経営工学総論(00)	
	会計学(04)	2	TV	三代澤経人	立命館大学教授		社会の中の会計(00)	
	企業ファイナンス入門(04)	2	R	菊井 昭 宮本順二郎	上智大学教授 帝塚山大学教授		現代ファイナンス入門(00)	
	情報産業論(04)	2	R	西村吉雄	大阪大学特任教授	否	情報産業論(00)	
	ネットワーク産業論(04)	2	R	直江重彦	中央大学教授		ネットワーク産業論(00)	
	建築意匠論(04)	2	TV	香山壽夫	放送大学教授		都市と生活空間の工学(00)	
	光電子技術とIT社会(04)	2	TV	西原 浩	放送大学教授	否	電子技術と社会(00)	
	人工物と設計(04)	2	TV	中島尚正	放送大学教授	否	設計学(00)	
	計算力学(04)	2	TV	矢川元基	東京大学大学院教授		産業人間工学(00)	
	人間の探究	現象学の基礎(04)	2	R	千田義光	國學院大学教授		現象学入門(00)
		科学の哲学(04)	2	R	野家啓一	東北大学大学院教授		宗教の哲学(00)
		朱子学と陽明学(04)	2	R	小島 毅	東京大学大学院助教授		老荘思想(00)
上代の日本文学(04)		2	R	多田一臣	東京大学大学院教授	否	上代の日本文学(00)	
日本文学における住まい(04)		2	R	島内裕子	放送大学助教授		中世日本文学の風景(00)	
近代日本と国際社会(04)		2	R	小風秀雅	お茶の水女子大学教授		19世紀日本の歴史(00)	
韓国朝鮮の歴史と社会(04)		2	TV	吉田光男	東京大学大学院教授		朝鮮の歴史と社会(00)	
中央アジアの歴史・社会・文化(04)		2	R	間野英二 堀川 徹	京都大学名誉教授 京都外国語大学教授		南アジアの文化を学ぶ(00) (第2学期開講科目)	
古代地中海世界の歴史(04)		2	TV	本村凌二 中村るい	東京大学大学院教授 大妻女子大学非常勤講師		古典古代の歴史(00)	
アメリカの歴史(04)		2	TV	油井大三郎	東京大学大学院教授		アメリカの歴史(00)	
中世日本の物語と絵画(04)		2	TV	佐野みどり 並木誠士	学習院大学教授 京都工芸繊維大学教授		イメージの歴史(00)	
応用音楽学と民族音楽学(04)		2	R	山口 修	大阪大学名誉教授		応用音楽学(00)	
文化人類学(04)		2	TV	江淵一公 松園万亀雄	放送大学教授 国立民族学博物館館長		文化人類学(00)	
博物館資料論(04)	2	TV	石森秀三	国立民族学博物館教授	否	博物館資料論(00)		
博物館経営・情報論(04)	2	R	石森秀三	国立民族学博物館教授	否	博物館経営・情報論(00)		
考古学と歴史(04)	2	TV	白石太一郎	国立歴史民俗博物館教授				
自然の理解	線型代数学(04)	2	TV	長岡亮介	放送大学教授	否	線型代数(00)	
	相対論(04)	2	R	岡村 浩	工学院大学教授	否	相対論(99)	
	物質の科学・反応と物性(04)	2	TV	岩村 秀 梶本興亜	放送大学教授 京都大学大学院教授	否	物質の科学・反応と物性 (99)	
	複素数と関数(04)	2	R	熊原啓作	放送大学教授		解析学(00)	
	幾何入門(04)	2	R	砂田 利一	明治大学教授		統計の考え方(00)	
	物性物理学入門(04)	2	TV	藤原毅夫	東京大学大学院教授	否	物性物理学入門(00)	
	植物の生理(04)	2	TV	庄野邦彦 菊山宗弘	日本女子大学教授 新潟大学教授	否	植物の生理(00)	
	動物の行動と生態(04)	2	TV	長谷川眞理子	早稲田大学教授		動物の行動と社会(00)	

- (注) 1. 「メディア」欄のTVはテレビ、Rはラジオです。
2. 「現職等」は、平成15年10月現在のものです。
3. 「平成15年度限り閉講科目」及び以下の科目は、平成15年度限りで閉講となります。
現代生活論(00)、舞台芸術の現在(00)、日本の法システム(00)、財政学(00)、環境アセスメント(00)、プログラミング入門(00)、日本音楽の基礎概念(00)、ギリシャ・ローマ文学(00)、光と物質(00)、現代モード論(00)
4. 「再履修」欄が「否」の開講改訂科目については、対応する「平成15年度限り閉講科目」の単位修得者は履修できません。

平成16年度大学院開設改訂科目一覧

区分	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修	平成15年度限り閉講科目
政策経営プログラム	地方自治政策（'04）	2	R	倉沢進 小林良二	放送大学教授 東京都立大学教授	否	地方自治政策（'02）
政策経営プログラム	技術社会関係論（'04）	2	R	森谷正規	放送大学教授	否	技術社会関係論（'02）
教育開発プログラム	教育経営論（'04）	2	R	新井郁男	放送大学教授	否	教育経営論（'02）

(注)1.「メディア」欄のRはラジオです。
2.「現職等」は、平成15年10月現在のものです。

学習センターの整備

愛媛学習センターの移転

文化の地、愛媛の生涯学習拠点

愛媛学習センター所長 磯村滋宏



放送大学愛媛学習センターは平成7年4月に、愛媛大学附属図書館の一部を借用して発足しました。以来、

着実な歩みを続け、最初は281名であった学生数は本年前学期には1,204名に増加し、卒業生数も113名となりました。当然ながら、最初は特に問題のなかったセンターのスペースも次第に手狭になって来ておりましたが、この度、同じ愛媛大学キャンパス内に、従来の約4倍の広さに相当する1,378㎡の新学舎が完成し、9月10日に移転を完了して開所しました。

この愛媛学習センターの新学舎は、愛媛大学総合情報メディアセンターとの合築によるもので、新たに増築された4階建部分の3、4階を占めています。3階には視聴覚学習・図書室、パソコン20台を備えた実習室、学生交流スペース、事務室、客員教授室等が、いずれもゆとりのある広さで設置されています。4つの講義室（このうち3つを合同すると、約140名を収容出来ます）会議室、多目的室に加えて、城山と松山城の眺望が美しく開けるコミュニティスペース

等があります。講義室には十分な広さがあるため、面接授業の定員を余裕をもって設定できるようになりました。内部がこのような立派に整備されている一方、学習センターが置かれている位置もまた素晴らしい環境の中にあります。愛媛大学キャンパスは松山市の文教地区にあり、周りには松山大学をはじめ高等学校、中学校、放送局（南海放送）等があります。緑に囲まれた静かなこの場所は、落ち着いた学習に適しています。さらにここは市の中心地域に近く、電車の停留所もすぐそばにあり、学生の皆さんが通いやすい便利な場所ともなっています。

この恵まれた状況の中であって、愛媛学習センターの更なる発展が期待されます。最新のAV機器を備えた講義室では、より充実した面接授業や学習指導（一般市民にも公開される、客員教授によるゼミナール）が行われるでしょうし、また学生同士の交流もさらに盛んになる事でしょう。愛媛大学総合情報メディアセンターと同居している利点を生かしつつ、愛媛県の生涯学習の中心的拠点としてお役に立つよう、教職員一同努力しております。



平成16年度開設改訂科目紹介

変化する地球環境（'04）

講義の特色は、地球科学を一人の講師が担当することであろう。そうすることによって、個人の自然観を語るができるのではないかと思ったからである。このような話は、講師のバックグラウンドが深く関係せざるを得ない。

私は、東大の地球物理学科を卒業した後、東大海洋研究所に就職し、そこで36年間研究生活を送った後、平成15年に定年退官した。地球物理学科では、地球内部の構造から地震・火山の仕組み、大気・海洋など、主に、地球の物理的な側面を学んだ。大学院では気象学を専攻し、海洋研究所では海洋物理学を勉強した。海洋研究

所には、海洋生物学、海洋化学、海底科学などの研究者がおり、異なる専門領域の専門家と親しく話し合う機会をもった。海洋は、地球の自然の縮図のようなものである。その結果、ある種の自然観が私の内部に構築された。

今回、「変化する地球環境」という題目の講義を依頼されたとき、単に、最近の環境問題を語るだけではなく、環境問題を自分で考える基礎体力になるような講義をしたいと考えた。それは、地球の自然全体について語ることに他ならない。高校地学は、天文・気象・海洋・固体地球・地球の歴史など、異なる専門領域の集合で構

東京大学名誉教授 木村 龍治

成されており、教科書を書く場合は、それぞれの専門家が分担執筆する。高校レベルでは、ひとりの教師が地学全体を教えることが普通であるが、本講義は、大学レベルの地学をひとりで担当する、というわけである。



表象としての日本（'04）

西洋人の見た日本文化

日本の近代が仮に1853年のペリー来航をもって始まるとすれば、このときから日本は、急激な社会構造の変化に対応するために、多くの外国人を雇い入れ、彼らの力を借りて近代化を懸命に進めた。そして日本とその文化は、外国の人々にとっても強い興味の対象となった。

こうした欧米の関心は大きく三つに分けることができる。まず幕末から明治にかけては、西洋人が自分たちのために日本のことを語り伝えた時期があり、次いでそれらを基礎に西洋人が自らの文化と対比しながら、日本の文化を読み解こうとした時代がくる。そして第二次大戦をはさんで、日本人自

身が西洋人の眼差しに映った日本の姿に興味をもち、自らのアイデンティティを考える座標の一つにしようとした。

これら三つの時期の日本観形成に大きく寄与した人たちは、イギリスの外交官アーネスト・サトウやフランスの外交官で詩人のポール・クローデル、文学者のアーサー・ウェイリー、ラフカディオ・ハーン、ロラン・バルト、そして日本建築の美を発見したブルーノ・タウト、アメリカの日本研究者たち、さらには万国博覧会などの機会に海外で紹介された貞奴や花子の舞踊や音楽を通して、西洋がどのような日本を表象していったかを検証する。

人間の探究 教授 山内 久明
産業と技術 教授 柏倉 康夫
社会と経済 教授 阿部 齊



山内教授

柏倉教授

阿部教授

教養学部学生及び大学院修士科目生募集

平成16年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。

平成15年11月15日(土)…………… 平成16年度第1学期教養学部、修士科目生学生募集要項配布開始

平成15年12月15日(月)~
平成16年2月29日(日)…………… 出願受付(教養学部学生・修士科目生)

2月上旬~3月中旬…………… 合否通知等

2月上旬~3月31日(水)…………… 学費の納入

2月中旬~4月中旬…………… 入学許可通知・印刷教材等の発送

4月1日(木)…………… 平成16年度第1学期授業開始

・募集要項(出願書類を含む)は、各地の学習センター、大学本部などで直接配布しているほか、郵送(ハガキ)や放送大学のホームページからも請求できますので、ご利用ください。
募集要項・送料は無料です。

・放送大学では、平成16年4月1日から始まる新学期の学生募集を行います。

・この機会に放送大学に関心をお持ちのご友人、ご親戚他お知り合いの方にご紹介いただき、入学をお薦めくださいますようお願いいたします。

・平成16年3月末で学籍が切れる方が、平成16年度第1学期以降も引き続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要です。なお、その際は入学金が割引になります。

修士の学位の取得を目指す「大学院修士全科生」の学生募集(年1回)は終了しました。

出願締切日は平成16年2月29日(日)必着です。

募集要項請求専用フリーダイヤル 0120-864-600

平成16年度第1学期の科目登録申請について

次学期も引き続き学籍のある在学生を対象に「平成16年度第1学期科目登録申請要項」を1月上旬に送付します。

平成16年度第1学期の放送授業及び面接授業(毎週型・土日型)の科目登録申請期間は次のとおりです。

申請期間 平成16年1月27日(火) [消印]~平成16年2月10日(火) [必着]

1月中旬になっても未着、あるいは紛失した場合は、大学本部もしくは各学習センターにお問い合わせください。

詳しくは「学生生活の菜」をご覧ください。

平成15年度放送大学学位記授与式について

平成15年度学位記授与式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

日時:平成16年3月14日(日)午前10時30分から

場所:東京ベイNKホール(千葉県浦安市舞浜1-8)

「住所等変更届」の提出について(お願い)

ここ数年、「住所等変更届」の未提出等により、放送大学からお送りした郵便物が、戻ってくるケースが非常に多く発生しております。

本学よりお送りする郵便物は、通信制により高等教育を受けられるみなさんにとって、どれも重要なものですので、以下のことにご留意ください。

- 『学生生活の菜』の学年暦を熟読いただき、各種郵便物が送付される時期には、郵便物が投函されていないかどうか、郵便受けをこまめにご確認ください。
- 現住所が変更になった場合は、所属の各学習センターへ「住所等変更届」をご提出いただくとともに、速やかに、最寄りの郵便局へ転居届をご提出ください。

編集後記

「生涯学習」についての関心が高まっている。放送大学の働きによるところも大きいであろう。では、年をとってから何を勉強すべきか。いろいろな考え方があろう。新しいことを始めた方がいい、という人もいる。若い人と競いあうことが老化防止になるという人もいる。それはそれで結構なことだろう。

しかし私には、若い人にはできないことができることに、老人の真の喜びがあるようにも思われる。そのひとつが、昔読んだ本を読み返したり、昔勉強した科目をもう一度やってみることだ。退屈きわまりないと思った本が面白くて夢中になったり、その逆に感激した本が陳腐だったことに気づいたりする。私はこれを「生涯復習」と称して吹聴して歩いている。自分の講義の収録は早く片付けて、他の先生の講義をゆっくり拝聴しながら復習の時間を持ちたいと願っているところである。

(香山壽夫)

大学通信編集委員会

(平成15年度)

委員長	教授	阿部 齊
副委員長	同	徳丸吉彦
委員	同	香山壽夫
〃	助教授	奈良由美子
〃	同	山岡龍一
〃	同	坂井素思
〃	同	大橋理枝

(編集事務担当)

教務部修学指導課)



放送大学学園

http://www.u-air.ac.jp/hp
ISSN 1343-3369

R100